

平成29年度 消防本部 方針書

消防長 大石義孝

1. 消防本部の使命（役割）

災害現場の最前線で活動する組織として、その誇りと責任を持ち、市民の負託に応える

2. 平成29年度における課題（前年度の振り返りから）

1. 消防力の向上
2. 分署庁舎の整備
3. 消防団組織改革

3. 平成29年度の『スローガン』

～For The All～
持てる力を結集し、チームワークで市民を護る

4. 年度目標となる方針（目標）

1. 消防力の向上と、安全・確実・迅速な業務遂行
2. 職場環境の整備と、人材確保に向けた取り組み
3. 災害に強いまちづくりを目指す

5. 重点取組項目

(1)	項目	消防力の向上と、安全・確実・迅速な業務遂行
	取組内容	1. 若年者育成のシフトアップ・・・基本編から応用編へのシフト 2. 現場活動における指揮隊と通信指令室及び消防団との連携強化 3. 全国救助技術大会出場を目指した救助技術訓練の充実強化
(2)	項目	職場環境の整備と、人材確保、育成に向けた取り組み
	取組内容	1. 確実な分署統合事業の推進 ①仮称南分署の実施設計、造成工事等及び仮称西分署の基本設計等の実施 ②新平鹿分署完成後の体制強化 2. 積極的な消防の魅力発信による人材確保の推進 3. 継続的な救急救命士養成に向けた職員育成
(3)	項目	災害に強いまちづくりを目指す
	取組内容	1. 消防団組織改革の推進 ①第2次組織改革計画の策定 ②消防団統合の検討 2. バイスタンダー（身近な救護者）の育成と底辺の拡大及び119番通報時の口頭指導のレベルアップ 3. 住宅用火災警報器調査結果の検証と、設置率向上に向けた取り組み

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

1. 全国救助技術大会出場を目指し組織一丸となって取り組んだ結果、目的を果たすことができ、更に全国4位入賞という好成績をおさめた。
2. 分署統合事業の計画に基づく進捗、新平鹿分署体制の確立、及び人材確保に向けたPR動画を作成に取り組んだ。
3. 第2次消防団組織改革及び消防団統合に向け各関係機関と協議し方向性を見出した。また、住宅用火災警報器調査結果の検証に取り組んだ。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

1. 継続的な各種訓練による消防力の向上。
2. 平成30年度に向けた人材の確保。
3. 第2次消防団組織改革及び消防団統合の内容決定に向けた協議の開催。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

1. 現在の組織体制の中で若年層の育成が急務であり平成27年度より重要課題として継続して取り組んできたが、今年度は指導体制を更に強化し基本訓練から応用訓練にシフトアップしレベルアップを図った。その結果、確実な業務遂行が実践されていることから一定の効果は表れているが、分署統合による消防体制強化に向け、職員個々の更なるレベルアップを図る。
2. 体制強化された新平鹿分署が業務を開始し、効果的な災害対応が図られた。また、分署統合計画も順調に推移し、次年度は仮称南分署の庁舎完成及び仮称西分署建設に向け計画に基づき確実に事業展開を図る。
3. 消防団員減少により、消防団組織改革を進め「第1次消防団組織改革計画」の事業を計画どおり実施した。また、並行して協議された消防団統合計画も決定し、次年度は消防団統合に向け、関係機関と具体的な協議を進める。